
僕の想い、貴方に届け

ハヤブサ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の想い、貴方に届け

【Nコード】

N5416BA

【作者名】

ハヤブサ

【あらすじ】

震災のテーマに書いた詩です。

企画Smileに参加した作品です。

是非、お読み下さい。

(前書き)

震災のテーマに書いた詩で、企画Smileに参加した作品です。

普段は詩など書かないのであまり美しくない作品ですが、荒削りなりに自分の想いを書いたつもりです。

これで元気を出して頂ければ幸いです。

では、ごんご。

心配ないよ。

僕がいる。

貴方がいる。

みんながいる。

そして、どこが見守っているあの人、この人もいる。

ん？誰かっつてのは僕には分からないさ。

だけど、見守っている人は絶対いる。

だから諦めないで。

あの日、全てを攫った無慈悲な水の塊。

心の支え、愛しい人、居心地の良い場所。

それは貴方の全てを奪ったことだろう。

そう、何も感じさせないままに。

貴方はその時、何を感じた？

絶望感？喪失感？それとも言葉で言い表せない何か？

いずれにせよ、僕には分からない。

分かる余地もない。

だって、僕はメディアというレンズからその光景を見た、何も出来なかった、卑怯で、醜い傍観者なのだから。

でも、一つだけ言えることはあるんだ。

『もうダメだ。』『信じられない。』『諦めよう。』

この三つの言葉は人間に希望を奪ってしまう悪魔の囁き。

確証はない限り、諦めてはいけないんだ。

他の人のためにも。

安心して。

僕がいる。

貴方がいる。

みんながいる。

どこかで救おうとしているあの人、この人がいる。

ん？誰かっつてのは僕には分からないさ。

だけど、救おうとしている人は絶対いる。

だから信じて。

だから、まだ希望はあるよ、信じて、諦めないで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5416ba/>

僕の想い、貴方に届け

2012年1月15日01時53分発行